

第16回医療安全管理業務監査報告書

福井大学医学部附属病院医療安全管理監査委員会規程に基づき、監査を実施しましたので、以下のとおり報告します。

監査方法

福井大学医学部附属病院の医療安全管理業務について、医療安全管理責任者及び医療安全業務従事者等から、説明聴取及び資料閲覧により報告を求め、監査を実施しました。

日 時：令和7年1月29日（水） 16：00～17：30

場 所：福井大学医学部附属病院 医療環境センター会議室

委員長：山崎 宏人 金沢大学附属病院 医療安全管理部長

委 員：安川 繁博 福井県医師会副会長

委 員：草桶 秀夫 前福井工業大学環境情報学部 教授

委 員：吉川 奈奈 杉原・きっかわ法律事務所 弁護士

監査項目

- 1) 令和5年度の患者間違い事例分析及び改善策について
- 2) 外国人患者対応におけるA I 翻訳ツール活用状況および将来構想について
- 3) 医療安全管理上の課題の改善に繋げたI T活用事例について

監査結果

- 1) 令和5年度の患者間違い事例分析及び改善策について

患者誤認オカレンス分析について、事項別報告件数及び職種別の患者誤認報告件数の内容を詳細に調査し、適切に分析が行われていることを確認しました。

患者間違い防止の観点から、複数の病棟において院内安全ラウンドが実施され、注射実施、配薬及び配膳について、ラウンド調査結果をもとに今後の取り組みや対策について検討し、定期的に周知されていることを確認しました。配膳については、4項目確認が必要かどうか、今後の検討をお願いします。

また、院内安全ラウンドは、医療安全管理において効果的な取り組みとして評価できるため、今後も継続し患者誤認防止に努めていただくようお願いします。

- 2) 外国人患者対応におけるA I 翻訳ツール活用状況および将来構想について

外国人患者に対して、状況に応じた翻訳ツールの活用や英語版の問診票を活用するなど、多言語で対応可能な体制が構築されていることを確認しました。

3) 医療安全管理上の課題の改善につなげた I T 活用事例について

総合滅菌管理システムが導入された経緯、システム全体の概要及び運用状況により、院内におけるインシデント発生率の減少及び労働生産性の向上につながっていることを確認しました。個々の器具を GS1 コードで固体管理することにより、在庫管理やコスト削減にも寄与しているとともに、安全管理及び滅菌管理の面で I T を効果的に活用できている優れたシステムとして高く評価できます。

次回委員会議題について

- ・薬剤関係部署について
- ・院内ラウンド

総括

福井大学医学部附属病院における患者間違い事例分析及び改善策、外国人患者対応における A I 翻訳ツール活用の状況および将来構想及び医療安全管理上の課題の改善につなげた I T 活用事例について監査した結果、高度な医療を提供する特定機能病院としてふさわしい医療安全管理がなされているものと判断します。

引き続き、良好な医療安全管理状況の維持に努めていただくようお願いします。

令和 7 年 3 月 1 2 日

福井大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会
委員長 山崎 宏人